



試運転中の「しまんと製材工場」（高幡木材センター）
4月27日に竣工式が行われます。



… 目 次 …

令和4年度林野庁木材関係予算	…	2
経営セミナー	…	6
外国人実習制度に関するアンケート	…	7
販売促進経営セミナー	…	8
非住宅建築物の木造化・木質化セミナー	…	9
土佐材展示会 ナゴヤ辻文	…	10
木製品商談会（大阪、東京、京都）	…	11
住宅着工・木材価格情報	…	14
SCM第3回情報交換会	…	18
CLT完成見学会	…	19

令和 4 年度林野庁木材関係予算

林野庁予算概算決定の概要（ホームページ）から木材関係予算について紹介します。

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和 4 年度予算概算決定額 11,563（12,239）百万円】
【令和 4 年度予算概算決定額（デジタル庁計上） 93（74）百万円】
【令和 3 年度補正予算額 49,482百万円の内数、デジタル庁計上22百万円】

<対策のポイント>

カーボニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するため、「新しい林業」経営モデルの構築、路網の整備、間伐や再造林、木材加工流通施設の整備、「林業イノベーション」の推進、都市部における木材利用の強化、輸出を含む新たな需要の創出、国民運動の展開等、川上から川下までの取組を総合的に支援します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（31百万m³〔令和2年度〕→42百万m³〔令和12年度まで〕）

<事業の全体像>

「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

〔経営力の向上及び労働安全対策の強化〕

- ・伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」経営モデルの構築
- ・森林プランナーの育成による経営力向上
- ・研修等を通じた労働安全の強化対策等

木材の安定供給・利用拡大

建築用木材供給・利用強化対策

- ・都市部における木材利用の強化
- ・製材やCLT等の建築物への利用環境整備
- ・引き続き不透明な木材需給動向に対応するための需給情報の共有、建築用木材の安定的・効率的な供給体制の強化

木材需要の創出・輸出力強化対策

- ・非住宅建築物への木材の利用効果の実証
- ・地域の輸出处づくり、企業間連携による輸出の促進
- ・国別・地域別の合法伐採木材関係情報の提供等

林業・木材産業成長産業化促進対策

〔川上から川下まで連携した取組を総合的に支援〕

林業成長産業化地域創出モデル事業

地域の活性化に取り組みモデル的な地域を優先的に支援

持続的林業確立対策

- ・路網の整備・機能強化
- ・主伐・再造林の一貫施策
- ・コンテナ苗生産基盤施設の整備
- ・搬出間伐
- ・高性能林業機械の導入
- ・マーケティング力の強化等

木材産業等競争力強化対策

意欲と能力のある林業経営者との連携を前提に行う木材加工流通施設、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設、木造公共建築物の整備

林業イノベーション推進総合対策

〔新技術を活用した「林業イノベーション」の推進〕

技術開発方針の企画

産学官のプラットフォームにおける異分野技術等の導入

戦略的技術開発・実証

- ・林業機械の自動化、木質系新素材等の戦略的案件的開発・実証
- ・森林資源情報等のオープン化

開発技術の実装

- ・レーザ計測等による森林資源のデジタル化
- ・エリートツリー等の採種圃場の整備
- ・低コスト造林技術の活用推進
- ・ICT等を活用する高度技術者育成等

林業・木材産業金融対策

意欲と能力のある経営者等が行う設備投資等に対する融資の充実・円滑化

カーボニュートラル実現に向けた国民運動展開対策

〔国民参加の森林づくりや木材利用の促進〕

- ・国民の幅広い参画による植樹等の森林づくりの推進
- ・多様な分野で森林空間を活用する「森林サーピス産業」の創出・推進
- ・官民連携による木材利用拡大の機運醸成等

林業・木材産業成長産業化促進対策

「お問い合わせ先」 林野庁計画課 (03-6744-2300)

建築用木材供給・利用強化対策

【令和4年度予算概算決定額 1,256,578 (1,250,559) 千円】
(令和3年度補正予算額 49,482,001千円の内数)

＜対策のポイント＞

都市部における木材利用の強化等を図るため、建築物用木材の利用の実証への支援や大径材活用に向けた技術開発等への支援、製材やCLT（直交集成板）・LVL（単板積層材）等の建築物への利用環境整備への支援を行います。あわせて、川上から川下までの需給情報の共有を図るとともに、地域ごとの生産・流通における課題を解決するための独自の取組を支援し、建築物用木材の安定的・効率的な供給体制を強化します。

政策目標

国産材の供給・利用量の増加（31百万m³〔令和2年度〕→42百万m³〔令和12年度まで〕）

△臨時の業務▽

1. 都市の木材利用促進総合対策事業

1. 都市の木材利用促進総合対策事業
都市部における建築用木材（木質耐火部材等を含む）の利用実証において、改正木材利用促進法に基く協定締結者を優先的に支援します。また、大径材活用も踏まえた地域材による設計合理化等の技術開発、普及や強度等に優れた建築用木材の製造に係る技術の開発・大学等と連携した普及を支援します。さらに、川上から川下までが連携した顔の見える木材を使用した構造材、内装材、家具・建具等の普及や、製材工場等の品目のバリエーションの充実に資する取組を支援します。

2. CLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業

2. CLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業

CLT製造企業との連携構築のためのモデル的な建築実証メニューを追加し、CLTを用いた先駆的な建築物の設計・建築や街づくり等への実証を支援します。また、CLT等の土木分野への利用や設計の容易化、製材やCLT等の品質確保等に関する技術開発や設計者の育成等を支援します。さらに、BIMを活用した設計、施工手法等の標準化に向けて、設計や資材調達における課題の抽出等を行います。 ※ BIM(Building Information Modeling)コンピュータ上で

3. 建築用木材供給強化促進事業

3. 建築用木材供給強化促進事業

引き続き注視が必要な木材需給動向に対応するため、川上から川下までの事業業者による需給情報等を共有する連絡協議会を中央・全国7地区で開催します。また、建築用木材の安定供給・効率的な供給体制を強化するため、川上から川下までの生産・流通における地域ごとの多様な課題を解決していくための独自の取組を支援します。

105,607 (一) 千円

セパルを構築するシステム

また、作業安全推進運動の全国的展開、木材加工施設等導入の利子助成・リース、森林認証材の普及啓発等の取組を支援します。

＜事業の流れ＞



(1)の事業、2、3の事業の一部)

事業イ・ノ・イ



マーケットインによる安定供給体制強化促進

【お問い合わせ先】 林野庁木材産業課 (03-3502-8062)

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち

木材需要の創出・輸出力強化対策

【令和4年度予算概算決定額 442 (506) 百万円】
【令和3年度補正予算額 49,482百万円の内数、デジタル庁計上22百万円】

<対策のポイント>

非住宅建築物等の木造化・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用、木材製品の輸出の推進等による木材需要の拡大を支援するとともに、国別・地域別の合法伐採木材関係情報の提供等を行います。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加 (31百万m³ [令和2年度] →42百万m³ [令和12年度まで])

<事業の内容>

1. 非住宅建築物等木材利用促進事業

96 (一) 百万円

非住宅建築物の木質化による利用者の生産性向上等木の効果を実証する取組※、地域への専門家派遣等による技術的支援※等の取組を支援します。

※ 改正木材利用促進法に基づく協定締結者を優先的に支援

2. 「地域内エコシステム」推進事業

210 (240) 百万円

木質バイオマスの熱利用を行う「地域内エコシステム」の構築に向け、地域における合意形成、技術開発、技術面での相談・サポート等の取組を支援します。

3. 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業

75 (一) 百万円

産地協議会の設置や運営などによる地域による体制づくり、企業間の連携によるモデル的な輸出の取組、海外で設計・施工を行う技術者の育成を支援します。

4. 「クリーンウッド」普及促進事業

39 (51) 百万円

木材関連事業者の登録を推進するため、幅広い関係者へのクリーンウッドの普及啓発の取組への支援をします。また、国別・地域別の合法伐採木材関係情報を提供します。

5. 広葉樹を活用した成長産業化支援対策事業

22 (22) 百万円

特用林産物に関する情報の収集・分析・提供、国産特用林産物の競争力の強化に向けた実証、需要拡大と担い手確保を一体的に行う取組等を支援します。

<事業の流れ>

定額、委託

国

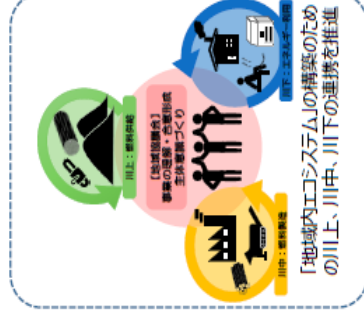
民間団体等

【お問い合わせ先】 (1～4の事業) 林野庁木材利用課 (03-6744-2120)
(5の事業) 経営課 (03-3502-8059)

<事業イメージ>



非住宅建築物の木質化のための実証等を支援



「地域内エコシステム」の構築のための川上・川中・川下の連携を推進



輸出事業計画策定

輸出産地形成に向けた地域の合意形成のための産地協議会を育成



「クリーンウッド・ナビ」において合法伐採木材関係情報を提供



高付加価値
さのこ等の生産・
加工・流通に係
る実証等を推進

経営セミナー

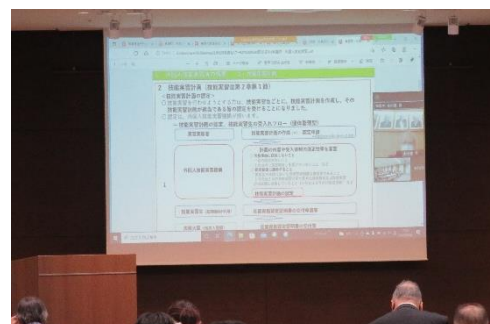
高知県と木材協会の共催で、2月8日（火）、ちより街テラス（ちよテラホール）において、経営セミナー（オンライン併用）を開催しました。

セミナーでは、奈良県吉田製材株式会社代表取締役社長吉田敦彦氏に「お客様が何を望んでいるのか理解する事から始まる」と題して基調講演をいただきました。吉田氏からは先進的な取り組みと合わせて、幾度とない危機や失敗を乗り越えてきた貴重なお話を聴くことができ、参加をいただいた方には大きな刺激となり、今後の取り組みの参考になったと考えています。

また、経営コンサルタントから「事業継承」、全国木材組合連合会からは「外国人技能実習制度」についてご講演をいただきました。



(株)吉田製材 吉田社長



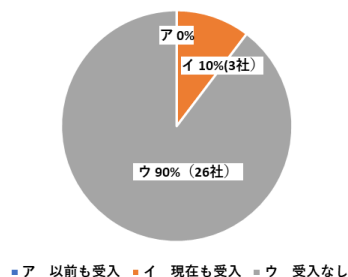
外国人実習制度に関するアンケート

外国人技術実習制度では、木材産業分野について在留期間が１年（１号指定）のみとなっています。現在、全国木材組合連合会において、「機械製材」に関して技能実習評価試験認定に向け準備が進められています。このことが国に承認されれば、近い将来「機械製材」について同制度の職種追加（２号指定）が期待でき、３年間（１号と２号と併せて）の在留期間が認められる実習生を受け入れることが可能となります。一方、県内の製材事業者でも、担い手の確保が製品増産の課題になっている声をお聴きしています。

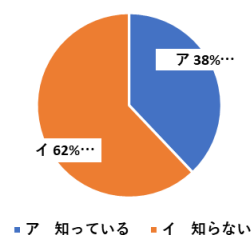
こうした状況を踏まえ、当協会では、外国人技術実習制度の導入に関する製材事業者の方々にアンケートを実施しました。

研修生の受け入れ期間が３年間になった場合、「すぐに受け入れたい」「検討したい」が、回答のあった約３割（９社）となっており、担い手の不足感を改めて、認識した結果となっています。

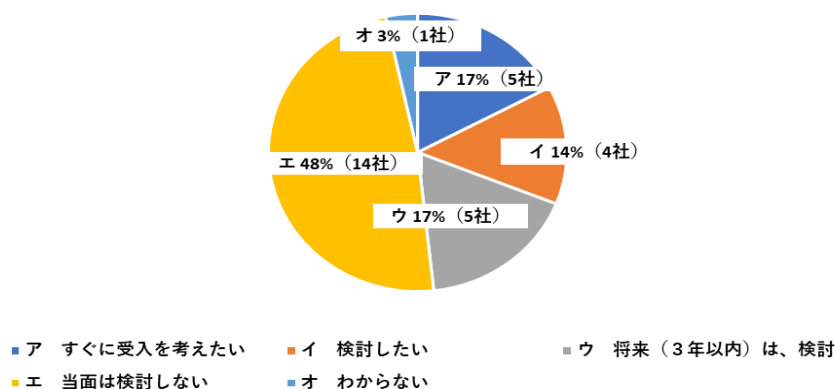
1 外国人技能実習生の受入れ



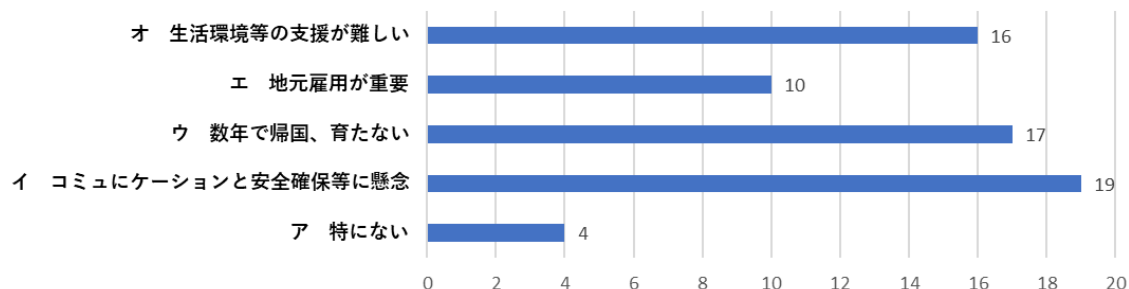
2 「木材産業分野」で２号職種追加に向けた最近の状況



3 研修生の在留期間が１年から３年になったら



4 受入れに向けての課題・不安



販売促進経営セミナー

木材協会と木製品工業連合協同組合の共催で、2月15日（火）、ちより街テラスにおいて、販売促進経営セミナーを開催し、製材や木製品製造の事業者に参加をいただきました。

セミナーでは、WEBマーケティングの専門家である坂上北斗氏を迎え、「インターネットが浸透した時代に『強みを活かして選ばれる』方法」と題してご講演をいただきました。

坂上氏からは、販売に対して、ユーザーから見た商品の強みの把握と分析、併せて把握した強みを情報発信する重要性などについて、お話がありました。

参加された方からは、販売促進に向けてのヒントやいろんな気づきなどがあったとの声がありました。

今後とも、セミナーや展示会の開催をはじめ販売促進に関する取り組みを行ってまいります。



坂上北斗 氏



非住宅建築物の木造化・木質化セミナー

木材協会が事務局を務めます「高知県林業活性化推進協議会」では、2月21日（月）、ちより街テラス（ちよテラホール）において、セミナー（オンライン併用）を開催しました。

セミナーでは、東京大学大学院農学生命科学研究科教授恒次裕子氏に「建物の内装化による人の影響」と題して基調講演をいただきました。恒次教授からは、最新データを紹介いただきながら、木の持つ可能性をお聴きすることができました。今回の講演にご紹介はいただけませんでしたが、木の皿と味覚との関係、生まれて間もない乳幼児が木の感触を好むデータなどの木の可能性に関する資料がたくさんあるようです。今後ともこうしたセミナーなどを通じて、ユーザーの方や建築士、業界の皆さまにも情報発信や提供に努めていきたいと考えています。

また、セミナーでは、高知県から改正された改定「公共建築物等木材利用促進法」と「高知県木材利用推進方針」についての情報提供、県建築士会から「木造建築物施主モニタリング調査」の報告が行われました。



恒次裕子氏



(株)ナゴヤ辻文 大口市場 土佐材展示即売会



開催日：令和4年2月18日（金）

場 所：愛知県丹羽郡大口町 東海木材相互市場

来場買い方：約50人

土佐材の出材：約43 m³ 土佐材の当日販売：約250万円

出展者：嶺北林材(協)、(協)西部木材センター



昨年と同様に、新型コロナウイルス第6波の感染急拡大となり、高知から人員を派遣することができず、即売会の結果を聞くだけになってしまいました。

展示会では、嶺北杉の人気は高く、当日完売したという報告がありました。

こうちの木製品・資材関連の展示商談会



開催日：令和4年1月27日(木)

開催場所：大阪府大阪市梅田

新阪急ホテル 2F 花の間

来場者：44 団体 60 人

出展者：

(株)なかよしライブラリー、

ひのき屋、(株)土佐組子、

(有)戸田商行、フォレスト、

土佐草木花、武田玩具

(協)高幡木材センター

(株)山のくじら舎、

四万十町森林組合大正集成材



昨年8月実施が延期され、今回の代替開催となったもので、高知県産業振興センターが主催する「高知家ミニ商談会」で木製品中心の企画が実現しました。百貨店のバイヤーなども多く来場する展示会となりました。

東京インターナショナル ギフト・ショー春 2022



開催日：令和4年2月8日（火）～10日（木）

開催場所：東京ビッグサイト東 1～6 ホール

来客：100,383 人（主催者発表 3 日間合計）

木材関係出展者：（株）土佐組子、ひのき屋、ひだか和紙（有）、フォレスト、
（株）ミロクテクノウッド、（株）山のくじら舎

ギフトショーは春と秋の恒例の開催となり、場所は広く集客も多いイベントです。

今回は、あいにくの新型コロナウイルス感染の第6波、関東地方は蔓延防止中であつたことから、担当者派遣を見送り商品のみでの展示となる企業もありましたが、当日の会場での来客も多く、賑わっていました。



京都インターナショナル ギフト・ショー2022



開催日：令和4年3月9日（水）～10日（木）

開催場所：京都市左京区岡崎 みやこめっせ 1F・3F

来客：14,906人（主催者発表2日間合計）

木材関係出展者：（株）山のくじら舎、ひのき屋

京都でのギフトショーはまだ歴史が浅く、高知県の展示はこれが最初となります。
関西地域は新型コロナウイルス感染第6波の蔓延防止中でしたが、季節も春に替わり、近くの平安神宮なども人出は多く、展示場も来客が多く賑わっていました。



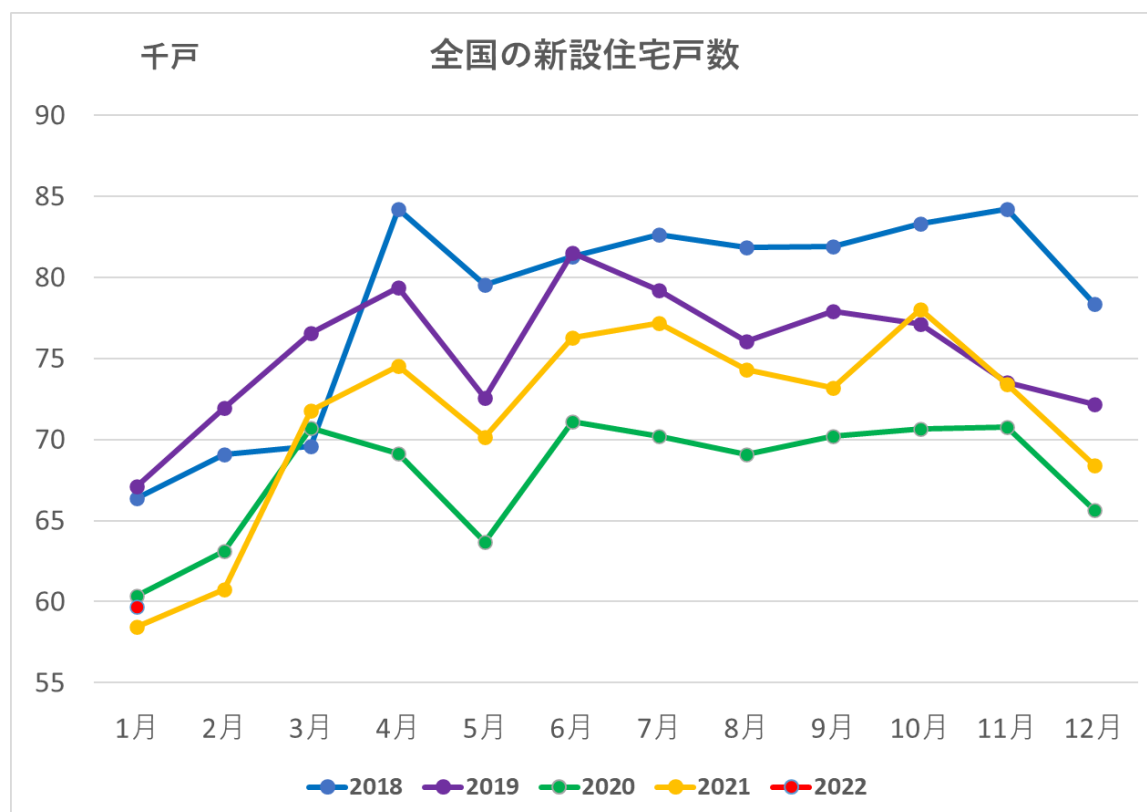
住宅着工情報

令和4年1月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表（政府木材統計による）

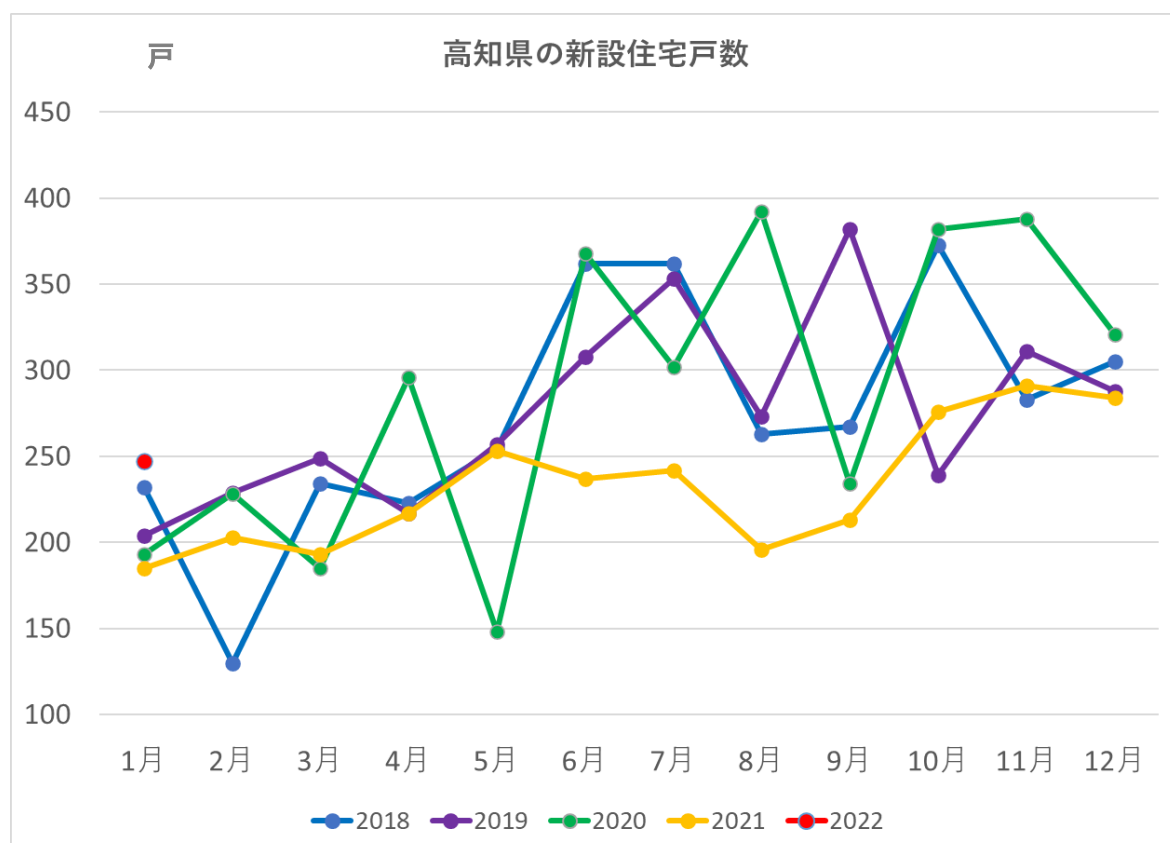
（単位：戸、％）

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	1,116	-30.5	390	-23.7	395	-20.8	14	250.0	317	-46.4	117	-70.7	200	4.2
青森	202	-47.9	124	-23.9	31	-65.9	7	-	40	-70.1	0	-100.0	40	-14.9
岩手	564	29.7	197	-12.1	325	166.4	3	-66.7	39	-51.3	0	-100.0	39	2.6
宮城	1,370	34.1	327	-15.3	702	80.9	0	-100.0	341	40.3	90	-	251	3.3
秋田	225	14.2	118	-0.8	68	65.9	0	-100.0	39	18.2	0	0.0	39	18.2
山形	310	30.3	139	6.9	105	66.7	0	0.0	66	46.7	0	0.0	66	46.7
福島	817	41.3	303	3.4	163	-13.3	3	-	348	258.8	216	-	130	34.0
茨城	1,975	56.6	650	-3.0	399	14.0	20	1,900.0	906	277.5	569	-	337	40.4
栃木	826	19.4	391	-1.8	99	-13.2	0	-100.0	336	92.0	158	-	178	1.7
群馬	686	-12.2	364	-16.5	159	-6.5	0	0.0	163	-6.9	0	0.0	163	-6.9
埼玉	3,673	5.8	1,102	0.7	1,332	21.3	3	50.0	1,236	-3.2	180	-37.7	1,033	5.6
千葉	3,561	-2.7	952	-13.8	1,213	-14.6	17	-41.4	1,379	24.7	481	48.5	898	14.8
東京	9,250	-11.0	1,252	3.7	5,188	8.1	52	766.7	2,758	-37.1	1,315	-56.8	1,412	9.5
神奈川	5,984	12.2	1,109	-1.1	2,483	61.7	100	3,233.3	2,292	-14.3	981	-35.4	1,293	13.5
新潟	509	12.4	306	3.0	87	4.8	0	-100.0	116	63.4	0	0.0	116	63.4
富山	418	32.3	151	-15.2	141	38.2	0	-100.0	126	260.0	93	-	33	-5.7
石川	372	20.0	200	9.3	126	65.8	0	0.0	46	-9.8	0	0.0	46	-9.8
福井	337	48.5	124	-3.9	102	39.7	0	-100.0	111	362.5	84	-	27	12.5
山梨	310	6.9	211	-4.1	47	88.0	1	-	51	13.3	0	0.0	51	13.3
長野	909	-6.4	487	3.6	270	-15.4	20	900.0	132	-26.7	0	-100.0	132	1.5
岐阜	653	-12.0	352	0.6	171	-26.3	0	0.0	130	-18.8	0	0.0	130	-18.8
静岡	1,301	-21.9	726	-21.1	302	-29.9	15	114.3	258	-16.0	0	-100.0	258	15.2
愛知	4,039	9.0	1,306	0.4	1,286	12.8	5	-73.7	1,442	15.6	474	1.1	968	24.4
三重	669	-17.9	377	3.6	200	0.0	2	-98.8	90	3.4	0	0.0	90	3.4
滋賀	658	-6.7	314	-7.9	255	60.4	4	-77.8	85	-54.5	0	-100.0	85	-15.0
京都	1,127	12.6	303	-15.8	314	29.2	2	-86.7	508	32.6	356	123.9	152	-32.1
大阪	4,231	0.3	763	-15.2	2,139	31.5	17	466.7	1,312	-22.3	561	-32.0	749	-13.3
兵庫	1,743	-20.8	617	2.5	486	-44.1	7	-46.2	633	-11.6	297	-16.1	336	-7.2
奈良	516	66.5	204	22.2	155	112.3	0	0.0	157	124.3	48	-	109	55.7
和歌山	454	59.9	219	12.3	171	338.5	0	-100.0	64	30.6	0	0.0	60	22.4
鳥取	144	2.9	115	12.7	24	-17.2	1	-	4	-55.6	0	-100.0	4	-20.0
島根	119	7.2	87	27.9	18	-35.7	0	0.0	14	-6.7	0	0.0	14	-6.7
岡山	1,106	32.6	451	1.8	287	37.3	1	-50.0	367	103.9	228	314.5	139	11.2
広島	1,423	20.8	380	7.0	639	150.6	4	300.0	400	-29.5	142	-51.2	258	1.2
山口	433	-1.4	236	-15.4	114	42.5	9	350.0	74	-5.1	0	-100.0	74	37.0
徳島	158	-0.6	123	-10.9	12	300.0	1	-	22	22.2	0	0.0	22	22.2
香川	308	-14.2	174	-13.9	44	-45.7	0	0.0	90	18.4	39	-17.0	51	75.9
愛媛	352	-28.3	203	-16.1	99	-29.8	0	0.0	50	-53.7	0	-100.0	50	-3.8
高知	247	33.5	117	0.9	101	114.9	0	0.0	29	31.8	0	0.0	29	31.8
福岡	2,876	28.9	590	-18.1	1,365	57.6	2	-87.5	919	45.9	494	109.3	425	9.8
佐賀	283	-21.8	154	-15.4	65	-33.7	1	0.0	63	-22.2	0	-100.0	63	61.5
長崎	328	-35.7	176	-6.9	86	-41.9	0	-100.0	66	-59.0	33	-72.7	33	-17.5
熊本	847	-5.2	343	-13.6	373	0.3	4	-	127	2.4	0	0.0	127	2.4
大分	601	44.1	208	-4.6	262	98.5	1	-	130	94.0	68	-	62	-7.5
宮崎	426	0.7	184	-19.7	154	54.0	0	-100.0	88	-3.3	42	-12.5	46	7.0
鹿児島	601	-6.5	301	2.4	228	-3.8	7	-30.0	65	-36.3	0	-100.0	65	-12.2
沖縄	633	-20.7	210	9.4	298	-24.6	0	-100.0	125	-39.6	5	-94.5	120	3.4
合 計	59,690	2.1	18,130	-5.6	23,083	16.6	323	-11.5	18,154	-4.9	7,071	-19.4	11,003	7.7
北海道	1,116	-30.5	390	-23.7	395	-20.8	14	250.0	317	-46.4	117	-70.7	200	4.2
東北	3,488	22.0	1,208	-8.1	1,394	56.1	13	-27.8	873	38.1	306	137.2	565	12.3
関東	27,174	1.2	6,518	-3.0	11,190	13.8	213	343.8	9,253	-9.8	3,684	-29.5	5,497	11.0
北陸	1,636	25.3	781	-0.8	456	36.5	0	-100.0	399	120.4	177	-	222	22.7
中部	6,662	-3.9	2,761	-5.9	1,959	-2.2	22	-88.4	1,920	6.6	474	-14.1	1,446	15.8
近畿	8,729	0.1	2,420	-5.7	3,520	16.9	30	-40.0	2,759	-10.8	1,262	-11.4	1,491	-10.7
中国	3,225	19.4	1,269	1.8	1,082	80.0	15	200.0	859	1.2	370	-1.1	489	7.7
四国	1,065	-10.8	617	-11.6	256	-5.9	1	-	191	-14.7	39	-62.1	152	25.6
九州	5,962	8.8	1,956	-12.2	2,533	29.7	15	-64.3	1,458	16.1	637	34.1	821	6.1
沖縄	633	-20.7	210	9.4	298	-24.6	0	-100.0	125	-39.6	5	-94.5	120	3.4
首都圏	22,468	-1.7	4,415	-2.5	10,216	15.4	172	330.0	7,665	-18.8	2,957	-42.9	4,636	10.7
中部圏	6,662	-3.9	2,761	-5.9	1,959	-2.2	22	-88.4	1,920	6.6	474	-14.1	1,446	15.8
近畿圏	8,729	0.1	2,420	-5.7	3,520	16.9	30	-40.0	2,759	-10.8	1,262	-11.4	1,491	-10.7
その他地域	21,831	9.5	8,534	-7.0	7,388	24.7	99	16.5	5,810	22.2	2,378	46.7	3,430	10.4

全国の1月の新設住宅着工数は59,690戸で、対前年同月比で2.1%の増加。
前月（12月 68,393戸）からは、8,703戸減少しました。

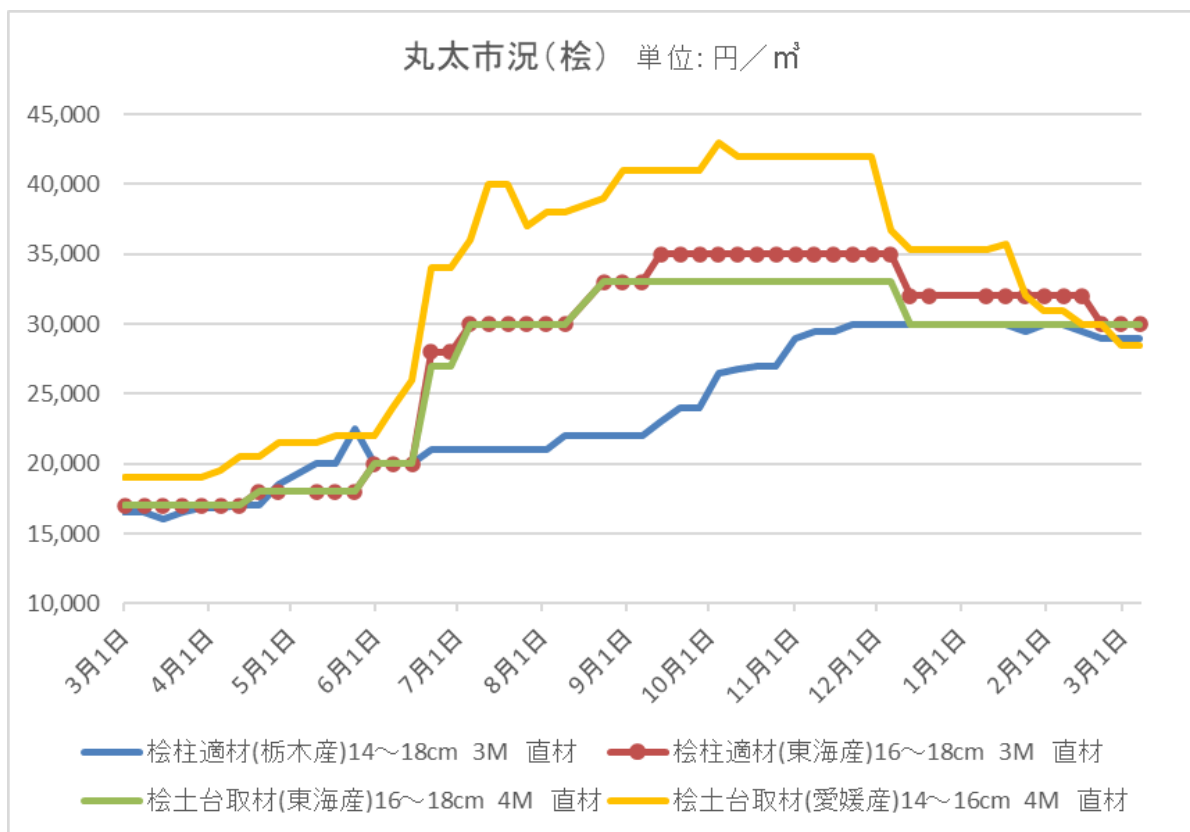
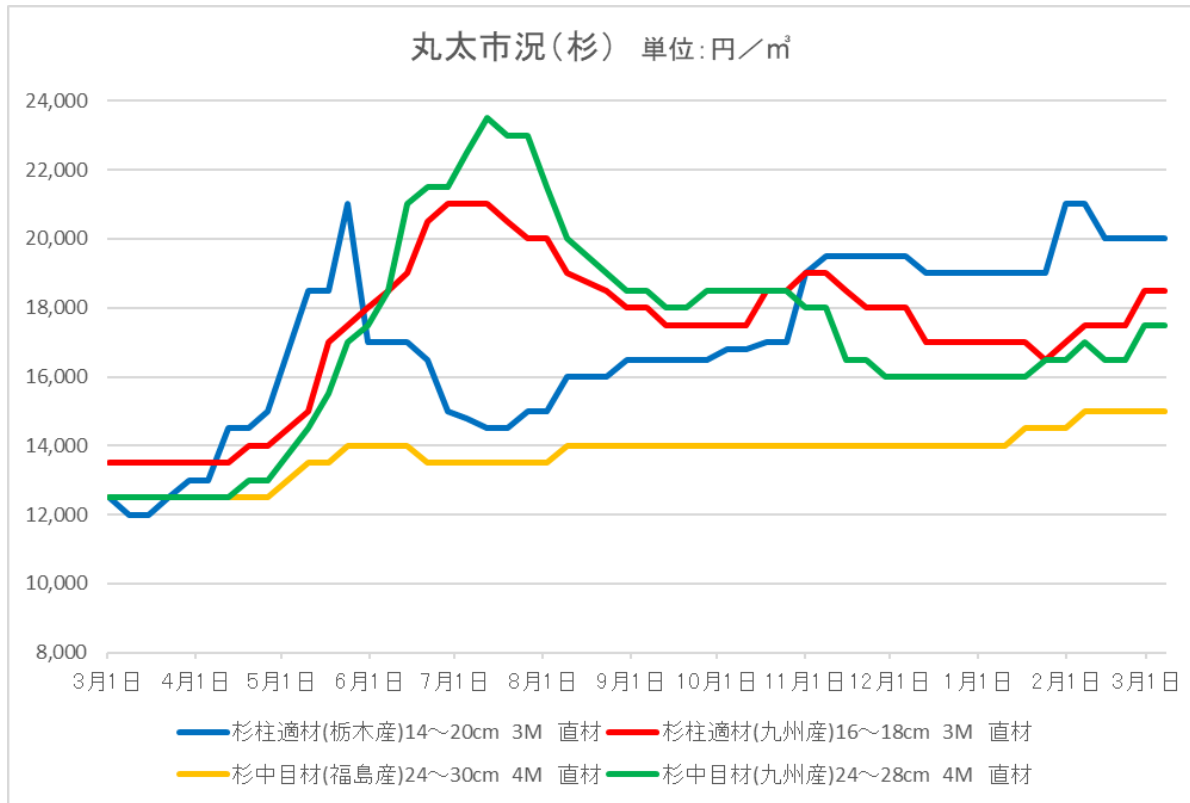


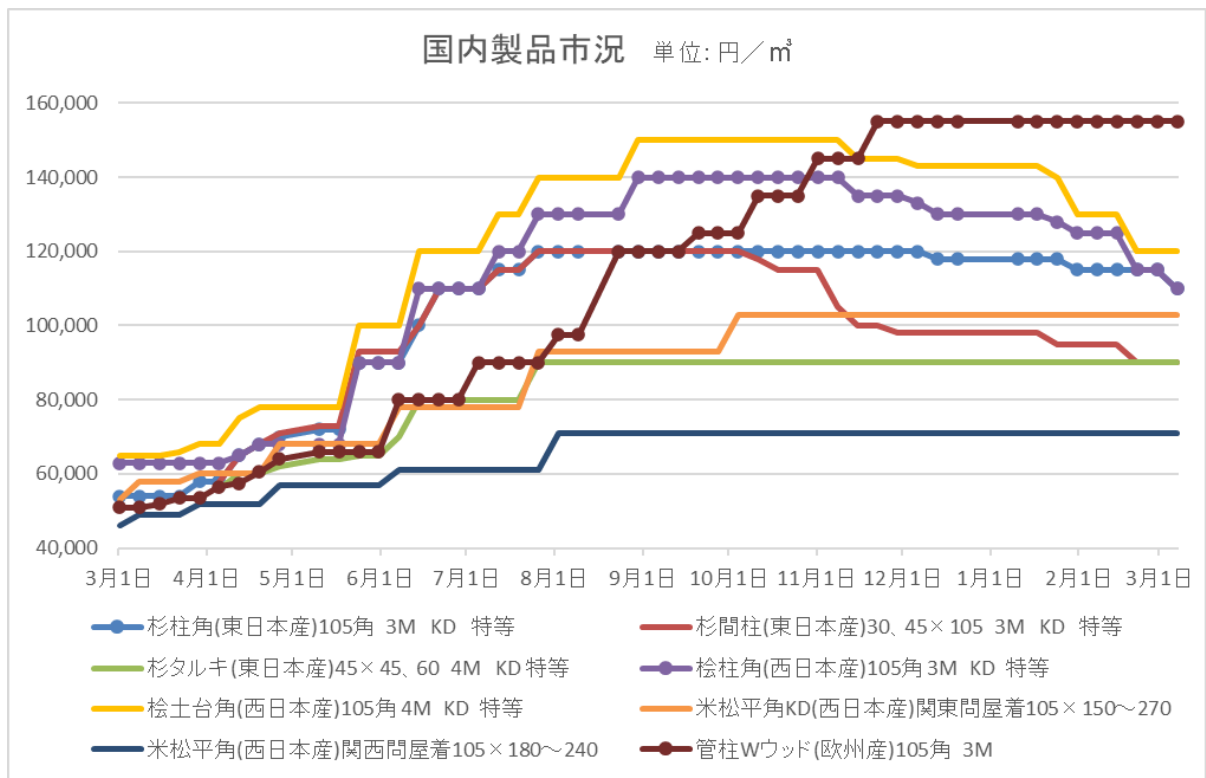
高知県の1月の新設住宅着工数は247戸で、対前年同月比で33.5%の増加。前月（12月 284戸）からは、37戸減少しました。



木材価格情報

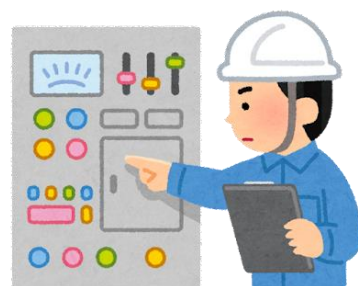
令和3年3月～令和4年3月 (木材建材ウイクリーによる)





機械の試運転が始まった「しまんと製材工場」
(高幡木材センター HP よ

り)



SCM 第3回情報交換会

令和3年度低層建築物（住宅等）における効率的なサプライチェーン構築支援事業の第3回情報交換会を開催しました。

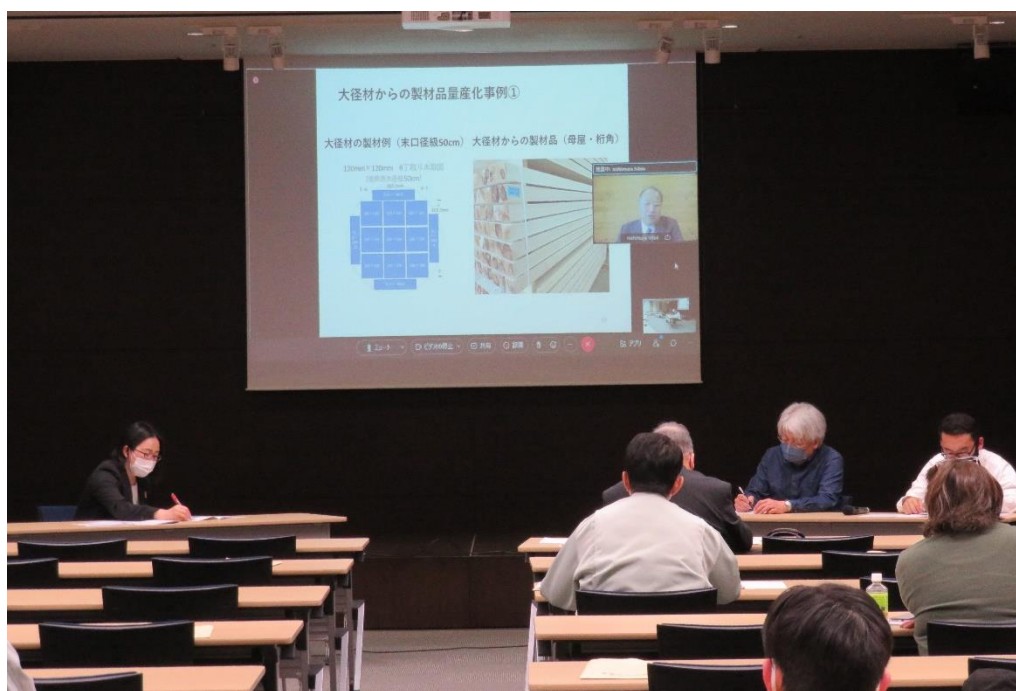
日時：令和4年2月28日（月） 13：30～16：30

場所：ちより街テラス （Web 併用）

参加者：全国素材生産業協同組合連合会 川端 氏
（一社）全日本木材市場連盟 柱本 氏
（一財）日本木材総合情報センター 大屋敷 氏
高知県、県内事業者 計 25 名

概要

- 情報提供・・・他県での先進的な取り組みについて
 - ① 「スギ大径材、製材加工の現場より」
（株）門脇木材 西村仁雄 氏 （オンライン）
 - ② スギー一般流通材の重ね梁工法による建築事例ー原木から製材そして施工まで
（有）内野設計 内野輝明 氏
徳島県木材センター（協）理事長・株式会社ゲンボク代表取締役 岡田育大 氏
- 全体会議・・・サプライチェーンマネジメント（SCM）総括と今後の計画について
 - ① 高知県 SCM 推進フォーラム成果のまとめ （一社）高知県木材協会 松岡
 - ② ICT 推進に向けて 高知大学 松本美香 氏



意見交換の様子（左から 松本氏、西村氏（オンライン）、内野氏、岡田氏）

CLT 木造 2 階建て共同住宅 高知市内に完成



メゾネットタイプ



右側写真

上段 全景

中段 1 階 居室

下段 2 階 LDK

木造 2 階建て共同住宅が完成し、3 月 5 日に見学会が開催され、多くの方が参加されました。メゾネットタイプの共同住宅（8 世帯）で、日当たりの関係から 2 階にリビングを配置し周辺環境に応じた設計となっています。

木造なので建物重量も RC 造より軽く、地盤補強も容易で、かかる地震力も少なく、外皮性能 U_A 値 0.38 と断熱性も非常に優れていて、CO₂ 排出量も少なく、SDG's な建築物（高知県 CO₂ 木づかい固定量 63.5 t-CO₂）となっています。さらに、壁と 2 階床に 90mm 厚 CLT を、また既存接合金物を使用すること等により、構造躯体の工期は 1 か月と RC 造の 2 分の 1 に短縮され、建築コストの削減が図られています。

【建物概要】

名称 : 第 2 いく代マンション
事業主 : 土居 正男
建築地 : 高知市鴨部 1134-1
延床面積 : 614.04m²
構造 : 木造・2 階建て

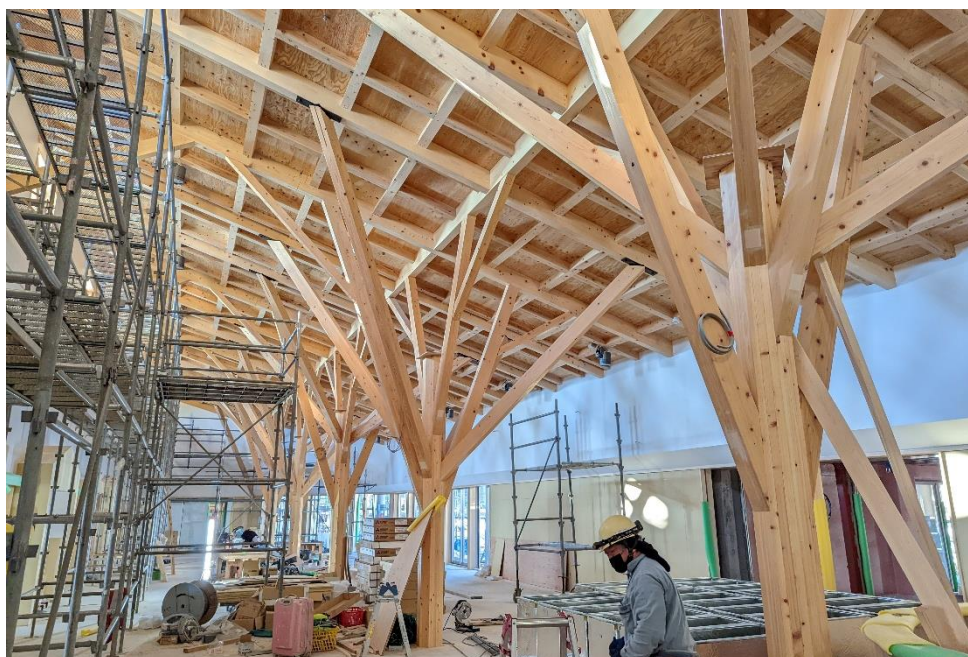
設計・監理 :
(有)開建築設計事務所（意匠）
中村建築構造設計合同会社（構造）
施工 : (株)響建設
用途 : 共同住宅

行事予定

- 3月28日(月) 木材協会 理事・監事会(三翠園)
4月8日(金) HIKARI 金沢土佐材展(石川県金沢市)
4月8日(金)～5月8日(日) ギャラリー展示(大阪市 近畿中国森林管理局)
4月25日(月) 高知県林業活性化推進協議会 総会(職業訓練センター)
4月27日(水) しまんと製材竣工式(高幡木材センター)
4月28日(木) 高幡木材センター 記念市(高幡木材センター)
5月11日(水) 東京中央木材市場優良高知土佐材展(千葉県浦安市)
5月18日(水) 土佐材流通促進協議会 総会(ちより街テラス)
5月19日(木) 高知県木材普及推進協会 総会(ちより街テラス)
5月23日(月) 土佐材産地まつり(西部木材センター)
5月25日(水) 高知県木製品工業連合協同組合 総会(三翠園)
5月30日(月) 木材協会 総会(三翠園)

次世代へつなぐ ウッドファースト社会 を目指して

木を育て～木に親しみ～木を活かす



建設中の宿毛保育園



一般社団法人 高知県木材協会

〒781-0801 高知市小倉町2番8号

☎ 088-883-6721

Fax 088-884-1697

✉ info@k-kenmoku.com

<http://www.k-kenmoku.com>